

じょいんと通信



第94号・湘南鎌倉人工関節センター・2014年1月



2014年



あけましておめでとうございます

院長 平川和男



本

年10月5日、湘南鎌倉人工関節センターは開設から満10年を迎えます。2004年(平成16年)は、構想

から5年が経過し現実のものとなったセンターを前にして身の引き締まる思いがありました。良かった事、反省させられた事、関係のない所から邪魔が入るような事などもありました。しかし、現実には多くの優秀なスタッフに恵まれ、

全国からいらしていただく患者さんたちの期待に対して10倍にしてお返すべく努力を積み重ねてきました。日本で初めての独立型の人工関節センターが日本で一番の症例が集まる施設になったのがまずは第一の成功と言えるでしょう。しかし、過去の歴史は歴史です。これからは、それから学び、合併症をゼロにすべく全てのスタッフで努力を重ねていきます。現在は手術後5日目に自宅へ退院するプログラムですが希望する方には2日、3日というプログラムも提供出来るように臨床研究にも励んで参ります。そして、**お互いにスタッフが切磋琢磨し、日本で一番、いや世界一質の高い治療を提供していく**所存です。

本年も湘南鎌倉人工関節センターの目指す理想的な人工関節医療に対し、皆様方のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



総看護師長 工藤留理子



新

年あけましておめでとうございます。

今年は湘南鎌倉人工関節センターが生まれて10年目の節目となります。この大きな節目の年を迎える事に、喜びと

緊張を感じております。今年も患者様が安心して安全な医療が受けられるよう、看護部をはじめ、**病院全体のチームワーク**づくりをしていきたいと考えております。また、昨年は「おもてなし」という言葉が流行りましたが、当センターにいらっしゃった患者様に心をこめたおもてなしが出来るよう努力して参ります。

午年は「**物事がうまくいく**」と申します。しっかりと目標を持ち、計画的に取り組んでいく所存です。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



▼発行元：
湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼1月外来休診日

休診日なし

▼2013年 月別手術件数
(単位：件)
人工股関節置換術：計603

1月	43	7月	63
2月	45	8月	58
3月	42	9月	49
4月	52	10月	59
5月	46	11月	50
6月	49	12月	47

人工膝関節置換術：計22

1月	3	7月	1
2月	3	8月	0
3月	4	9月	0
4月	0	10月	1
5月	2	11月	2
6月	4	12月	2

人工股関節再置換術：計9

1月	3	7月	0
2月	0	8月	0
3月	1	9月	0
4月	0	10月	0
5月	2	11月	1
6月	0	12月	2



事務長 伊澤智也



あ

けましておめでとうございます。

過去2回(2012年・2013年)も手術件数が全国トップという貴重な経験をし、今年の秋で10年となります。

10年という節目の年に今一度振り返り、これから先も恥じる事のない様に患者さんへのサービス向上を行えればと思います。

患者さんにとって『治療が[うま]くいく』、『幸運が[駆け込んで]くる』、そんなサービス提供が出来る様に職員一丸となって努めて参りたいと思います。

本年もよろしくお願い致します。



理学療法士副室長 鈴木浩次



明

けましておめでとうございます。

2013年の締めくくり、紅白歌合戦に松田聖子さんの姿がありました。なつかしいながらも、新鮮な気持ちで観ていました。聖子さんといえば、それまでのアイドル歌手の概念をくつがえしたパイオニア的存在。人気絶頂期にアメリカ進出を目指していましたが、

どちらかといえばバッシングが強かったと記憶しています。

2013年大活躍、プロ野球楽天イーグルス田中将大投手が大リーグ挑戦を表明した時の応援ムードとは対照的です。しかし、彼女は逆風を追い風に変える力をもっていました。それが、息の長い今の活躍に繋がっているのでしょう。

湘南鎌倉人工関節センターは人工関節の**パイオニア的存在**としてオープンし、もうすぐ10年が経ちます。私はリハビリの立場から開設当初よりこの施設を見守っていますが、良い声ばかりが耳に入ってくるわけではありません。しかし、いろいろな意見を力に変えてより良い施設に、そして皆様のお役に立てるよう精進していきたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

X'mas会を行いました

平成25年12月19日(木)
パントマイムパフォーマー
の「じえーむす今川」さん
をお招きし当院にてクリスマス会を行いました！
当日は入院患者様6名に
加え、雨で足元の悪い中
近隣住民の方60名がお越し下さいました。
お子様も多く集まり、参加型ショーやの風船アレンジメントをプレゼントするなど、大変賑わいました☆



今年は鶴岡八幡宮の段葛(だんかすら)に
献灯(5灯)を掲揚させて頂きました。
掲揚期間は、大晦日から平成26年1月15日
前後の予定になります。
鶴岡八幡宮へ行かれましたら探して見て下さい。



次回の医学講座 & 院内見学

日時: 1月30日(木) 15:00~

場所: 湘南鎌倉人工関節センター 院内

講師: 平川 和男

★要申込: 0467-47-2377(月~土 9:00~17:00)★



海外学会報告

Orthopaedic Today

(訳: 整形外科の現状)

という世界の整形外科医すべてを対象とした教育的な新聞があり、その主催で1月18日からハワイのマウイ島で行われた学会に参加した。アジア全体からのポスター・コンテストに応募し、結果は最終選考までいくも残念でした…。グランプリは今トレンドである「幹細胞を利用した大腿骨頭壊死の治療」というものでした。整形“外科”といっても、時代の流れでiPS細胞を利用した治療など、手術以外の研究も盛んです。マウイ島ではこの時期、ザトウクジラが子育てのために回遊しており、双眼鏡があれば陸からも観察できます。アカウミガメも泳ぎ回ります。とにかく空が青くきれいなこと。なんでも写真に映えます。

日本も早く化石燃料を使った発電が風力、太陽光などに少しずつ代わりいつも爽やかな青空が広がるとよいですね。

院長 平川 和男



▼ 発行元:

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話: 0467-47-2377
FAX: 0467-47-2370

▼ 2014年1月手術件数

(単位: 件)

人工股関節置換術: 47
人工膝関節置換術: 1
人工股関節再置換術: 1

▼ 2月外来休診日

なし

高柳先生のひとり事♪

まだまだ寒い日が続きますが、「明日は3月なみの気温」という天気予報がちらほら聞かれるようになり、ひたすら春を待つ毎日です。

今年の10月で湘南鎌倉人工関節センターが創立10周年を迎えます。創立からの10年という期間はとても長いですが、人工関節の術後経過観察は10年、20年、30年、・・・とまだまだ続きます。昨年10月から落合俊輔先生が常勤となられ、病院スタッフも新しい仲間が増え、湘南鎌倉人工関節センターはパワーアップしています。次の10年に向けての新たなスタートが待っています。



インフルエンザ流行レベルマップ

左記のとおり、全国的にインフルエンザが流行しております。みなさん、手洗いうがいをしっかりして予防に努めましょう！

表) 国立感染症研究所調べ
平成26年1月22日現在



お知らせ

理学療法士
二宮 一成の
ひとり言

★当院ホームページ、随時更新中★

URL: <http://www.skjrc.jp/>

各部門の専用ページ開設しました。

先月から理学療法士を目指した学生さんが、臨床実習に来ています。私も学生時代には、患者様に対して「傾いた歩き方」「筋力や可動域の低下」といった「障害」を捉えることで精一杯でした。そのため個々の患者様の気持ちや思いが分からなかったように思います。

理学療法士の役割は「身体の改善だけでなく、精神的、社会的に満足した生活が送れるよう支援すること」です。そのためには、身体面だけでなく、患者様の気持ちや思いをしっかり理解することが大切だということを改めて振り返っています。大きな責任を担うけど、それ以上に患者様の笑顔や満足感を間近で感じる事が出来る職業だと思います。このような振り返りを行いながら、学生さんに指導、いや教わっている(笑) 今日この頃です。



次回の公開医学講座

日時: 平成26年2月27日(木) 15:00~※院内見学あり
要申込: 0467-47-2377



じょいんと通信 3月

第96号・湘南鎌倉人工関節センター・2014年3月



人工関節学会へ参加しました

齋藤Dr.
より報告



先日、沖縄で開催された人工関節学会に参加してきました。これまで、2年に1度沖縄で開催されていましたが今回は発表された演題数も多く、会場が手狭になったような気がしました。来年以降は福岡・大阪での開催が予定されており、今後は大都市での開催が中心になるのかな、と思います。

さて、今回の学会では目新しい発表は少なく、例年繰り返されている議論が「また今年もか」といった内容でした。

当院で始めたいわゆる**MIS(最小侵襲手術)**については、全国的に広がりを見せており、多くの病院からいろいろな演題が出されていました。ただ、疑問なのはそれらの病院で発表されている手術時間が2時間以上であったり、傷口は小さくてもそんなに長い時間患者さんの体を開けて負担をかけていてもMISなのか？という事です。更には、筋肉を切らないためには、人工関節の設置位置が理想的でなかったり、使用するインプラントに制限を加えたり、という内容まで。**人工関節の設置やインプラントの選択は、人工関節を長持ちさせるうえで最も重要なところです。**それをクリアにしたうえで、この患者さんの手術をするにあたって、患者さんに1番負担が少ない方法を考える。そういう考え方でやっている我々にとっては頭が「？？？」となる内容でした。

朝一番は、私は寝起きが悪いので1日で1番おとなしい(笑)のですが、今回の学会は初日の朝一の順番で、発表した壇上で熱く議論をした学会でした。



季節の野菜を食べて体重コントロールを



3月に入ると気温も少しずつ上がってきます。旅行や運動など、体を動かすのに快適な季節になっていますが、体が重く感じてなかなか外出する気になれない...そこでお正月太りが解消できていない方、普段から食生活が偏ってしまう方へ**旬の春野菜**をご紹介します！栄養たっぷりの野菜を食べて健康な体を作りましょう。

かぶ・・・実より葉の方が栄養価が高い。主な成分はカロテン、ビタミンB1・B2・C、カルシウムなど。

筍・・・食物繊維が豊富。実が小さくてずっしりしたものが良質。

大根・・・春のダイコンは夏や冬に比べ柔らかいため生食や漬物に最適。生の大根にはメタボ、生活習慣病の予防や発がん物質の解毒を助ける効果があると事です。

春キャベツ・・・通常売られているものよりも葉の巻きがゆるく、内部まで黄緑色、葉質の柔らかいもの。胃腸を強くし、がん予防や骨形成を助けてくれるそうです。

体重の増加は股関節や膝に負担をかけてしまいます。手術する前も後も、体重管理は大切なセルフケアです。栄養たっぷりの春野菜を食べて健康な体を作りながら体重コントロールを行いましょう！

★次回の医学講座★

日時：平成26年3月27日(木)14:30～

場所：湘南鎌倉人工関節センター 3F

要申込 TEL:0467-47-2377(受付時間：月～土 9:00～17:00)

▼発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061

神奈川県鎌倉市台5-4-17

電話：0467-47-2377

FAX：0467-47-2370

▼2014年2月手術件数

(単位：件)

人工股関節置換術：57

人工膝関節置換術：0

人工股関節再置換術：1

▼3月外来休診日

休診日なし

♪落合先生の独り言♪

2月21日、22日に沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンターで開催された第44回日本人工関節学会に参加してきました。学会では人工関節手術に携わる日本中の病院から発表があり、当院からは高柳先生、齋藤先生、二宮理学療法士の発表がありました。

様々な施設から治療方針や治療成績などが発表され、多くの新しい方法や治療機械の紹介もありました。しかし、人工関節手術は手術を受ける患者さんにとっては一生の問題ですので、医師、病院の技術自慢ではなく、患者さん第一に最善の治療方針で医療を行っていくという考えが大切であると再認識し、今後の治療に役立てていきたいと思いました。

写真は会場裏の宜野湾トロピカルビーチです。隣の球場ではベイスターズがキャンプをしていました。



じょいんと通信 4月

第97号・湘南鎌倉人工関節センター・2014年4月



【4月から常勤として着任】

4月から常勤医として勤務させて頂くことになりました**名倉誠朗（なくらなりあき）**と申します。福岡県北九州市出身の43歳です。

1999年に人工関節による治療を産業医科大学病院で経験し、これを専門にすることを志し、2004年に湘南鎌倉人工関節センターに九州から

飛行機で毎週通わせて頂きながらMIS-THA（最小侵襲手技）を学ばせて頂きました。3年間通った後、産業医科大学病院の人工膝治療のチーフを3年間担当し、その後2年間は再度、湘南鎌倉人工関節センターに毎週通わせていただきながら研鑽を積んでまいりました。

この人工関節センターのスタッフの方々をはじめ、多くの方々にお世話になってきました。これまでお世話になったすべての皆様に感謝申し上げます。これまで研鑽した多くのことを、患者さんはもちろん、スタッフの皆様にも還元していけますよう、不撓不屈の精神で医師道を精進していく所存であります。

今年で44歳になります。こちらに最初にお世話になり始めた8年前に比べると身体は老けて参りましたが、人工関節治療に対する情熱はまだまだ老けておりません。

皆様、よろしくお願い申し上げます。

第56回鎌倉まつり



鎌倉の春といえば毎年行われている「鎌倉まつり」が有名です。毎年4月第2日曜日から第3日曜日まで開催されております。鶴岡八幡宮を中心にパレードやイベント・催しがあり桜の季節は一段と賑わっております。

さて皆さん、若宮大路の中央に一段と高くなった参道のことを「段葛（だんかずら）」と言います。参道の両側にあるソメイヨシノが満開になると桜のトンネルができあがります。桜の木はなんと約300本もあるそうです。

そして今回、お正月に引き続き鶴岡八幡宮へとつながっている段葛（だんかずら）に「提灯」を掲揚させて頂きます。

ぜひ春の訪れとともに鎌倉観光を楽しみ、提灯を探してみてはいかがでしょうか。



次回の公開医学講座

日時：平成26年4月27日（木）14:30～※院内見学あり
要申込：0467-47-2377

▼ 発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼ 2014年3月手術件数

（単位：件）

人工股関節置換術： 64
人工膝関節置換術： 1
人工股関節再置換術： 2
その他： 3

▼ 4月外来休診日

なし

齋藤先生のひとり事♪

左にありますように名倉医師が4月から我々の仲間に加わります。当院も一時期は医師が3名まで減少した時期もあるので、送別会ばかりだったので歓迎会が出来るので嬉しいですね。

（私は当院の宴会担当責任者です・・・笑）暦は春、3月の別れの後に4月は新しい出会いの季節です。

当院との出会いが皆さまの人生に素晴らしい結果をもたらすことができるよう、努力してまいります。

名倉医師ともども、引き続きよろしくお願い申し上げます。





じょいんと通信



第98号・湘南鎌倉人工関節センター・2014年5月

タイから医師が見学に来ました！

3月31日(月)～4月11日(金)、4月14日(月)～4月25日(金)にタイのSiriraj Hospitalより医師が1名ずつ見学にきました。



I would like to take this opportunity to say thank you to Dr.Hirakawa, Dr.Saito, Dr.Takayanagi, Dr.Nakura, Dr.Ochiai and all of your staffs for a warmly welcome and take care me during 2 weeks in Shonan Kamakura joint reconstruction center.

It was obvious to me, as an observer that doctors in here are very intouch with there patients, have a good attitude of caring patients and a very good surgical skill, which all is the best for the patients. Even a short time, I want you to know how much I recieved a wonderful experience in SKJRC, to observe your ways of caring patients, to be a part of your team in the operative field, which I learned a lot about minimally invasive surgery in hip arthroplasty. Lastly, I would like to say thank you again for allowing me to observe your hospital and thank you for all that you do for me. This is definitely an experience I'll always remember in Japan.

この場をお借りして湘南鎌倉人工関節センターの先生方、スタッフの皆様
に感謝をお伝えします。

全ての患者さんへの思いやり、素晴らしい診療態度、そして最良の医療技術
は私から見てもしっかりと分かりました。短い期間ではありましたが、私は素
晴らしい経験をする事ができ、チーム医療のやり方、MIS手術について多く
を学びました。

見学させて頂き、また皆様私にとっても良くして下さいありがとうございました。
今回の見学は絶対に忘れる事のない貴重な経験となりました。

Dr.Napon



It's precious time for me to be here and visit SKJRC. Thank you Dr. Hirakawa so much for your kindness to give me this chance. This's my first time to be an international academic visiting observer. I felt excited and mild upset in early few days because everything was strange for me. But warm welcome from all of you made me calm down and enjoy.

I have learn many things from here, not only in surgical technique but also in caring system, professional team work and japanese culture. My new experience in this time is very useful, I will apply to form an effective team as yours and improve my performance in clinical practice.

Happy time often pass so quickly. I hope that I may have a chance to see you again some days in the future.



関節センターで過ごした時間はとても貴重な時間です。このような機会を与えてくだ
さった平川院長へ感謝しています。今回、私は初めて海外の医療機関を見学しまし
た。全てにおいて不慣れで、興奮と混乱で日数は早く経ちました。しかし、スタッフの
皆様の温かい歓迎で楽しく過ごす事が出来ました。

私は関節センターで手術の技術だけでなく、患者さんへのケア、チームワーク、そし
て日本の文化を学びました。これからはこの新しい経験を活かし、関節センターのよ
うな素晴らしいチームを目指していきます。

日本での楽しい時間はすぐに過ぎてしまいました。またお会い出来る事を楽しみにし
ています。

Sincerely
Joe-san



▼ 発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061

神奈川県鎌倉市台5-4-17

電話：0467-47-2377

FAX：0467-47-2370

▼2014年4月手術件数

(単位：件)

人工股関節置換術：52

人工膝関節置換術：0

人工股関節再置換術：1

▼ 5月外来休診日

5月21日(水)

4月13日(日)～20日

(日)に行われた鎌倉まつりにて提灯を掲揚させて頂きました。年末年始から2度目の掲揚となり、また当センターの名前が飾られた際は皆様も鎌倉へ足を延ばしてみてください！



★次回の医学講座★

日時

平成26年5月29日(木)

14:30～

場所

湘南鎌倉人工関節センター

要申込

TEL：0467-47-2377

(受付時間：

月～土 9:00～17:00)

理学療法士★二宮の関節農園

毎年恒例となりました関節農園を作りました。
ゴーヤ(あばし、白、願寿、島さんご)、ヘチマに加え、
かぼちゃ(栗坊)、ズッキーニに挑戦しています。
この中でもゴーヤは、女性の強い味方になります。



①美肌効果バツグン！！

ゴーヤに含まれるビタミンCは美肌美白効果以外にも、コラーゲンを生成してお肌にハリを持たせる働きも担っています。

このほか、むくみに効くカリウムや、肌のキメを整えるカルシウム、アンチエイジングに効果のあるβ-カロテンも含まれています。

②減量にも驚異的な効果があります！！

ゴーヤの種に含まれている共益リノール酸は、体脂肪が増加するのを防ぐ効果があります。さらに食物繊維も多く含まれているため、余分な脂質の吸収を防いだり、お腹の中で膨らんで満腹感を得やすくしたりする効果もあります。

ゴーヤの育成を成功させるためには土作りが最重要！！

ゴーヤを栽培するには土が必要になります。園芸店で売っている**肥料入りの野菜栽培用の土を購入する**と良いでしょう。また、プランター用の土というものも売られていますが、質の悪い土が売られている場合もあり、栽培に失敗するケースもあるようです。

ゴーヤを栽培する時にもっとも大切なことは...

マグネシウム等のミネラル成分をしっかりと与えてあげることです！

そして、**水のあげすぎに注意！！**根っこも実は呼吸をしています。土が水だらけになってしまうと、根っこは呼吸ができなくなってしまい、腐ってしまいます。

水をあげるのは、土の表面が白く乾いてきたらにしましょう。

苗が小さなうちは、毎日あげる必要はありません。



★ゴーヤを選ぶポイント★

小ぶりでツブツブが多く、表面が緑色で光沢があり、なるべく固い物を選ぶ

大きい物は水分が落ちたり食感が劣ります。またつやが無く黄ばんでいる物は鮮度が落ちている可能性が高いです。固いものは、苦みも強く味も良いとされています。

愛情をたっぷり注いだ苗ちゃん達が、日々成長していく姿をみていると心が和みます。



★工藤総師長の独り言★

梅雨の季節は憂鬱なイメージをもっている方もいるのではないかと思います。しかし、鎌倉はあじさいの咲く季節となり、美しいあじさいを鑑賞できるよい季節になりました。長谷寺やあじさい電車など、梅雨を楽しめるスポットがたくさんあります。あじさいはその花の色が様々な変化をみせてくれる花です。白、青、紫、ピンク、赤色など本当にたくさんの色を楽しませてくれる花です。見ていだけで楽しくなる花の一つですね。いろいろな表情で楽しませてくれるあじさいは、ちょっぴり看護にも似ているかも…。私たちもいろいろな場面で患者さんにあわせて看護ができればいいなと日々思っています。



★平川先生の独り言★

<6月1日の出来事>

- ①大阪夏の陣で家康が二条城を出陣
- ②日本初の天気予報が交番に掲示
- ③近鉄(1944)小田急、京王、京浜急行(1948)設立
- ④立山、黒部アルペンルート開通(1971)
- ⑤AT運転免許が開始(2005)

<6月1日生まれの有名人>

マリリン・モンロー、モーガン・フリーマン
ロン・ウッド、千代の富士、山下泰裕 など…
皆さん自分の生まれた日、記念日などネット検索してみてください。歴史が感じられますよ。

▼発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼2014年5月手術件数 (単位：件)

人工股関節置換術：41
人工膝関節置換術：0
人工股関節再置換術：2

▼6月外来休診日

6月04日(水)
6月13日(金)

★次回の医学講座★

<日時>

平成26年6月26日(木)
14：30～

<場所>

湘南鎌倉人工関節センター
3F

要申込！！

TEL：0467-47-2377

大きくなあれ！



祝 第100号・湘南鎌倉人工関節センター・2014年7月

★リハビリDVDをリニューアル（発売）しました★

手術前の患者さんに貸出ししておりました
リハビリDVDの内容を大幅に刷新しました。



平成16年の開院以来からリニューアルせずに使用してきたため、内容が現状にそぐわないところもでてきました。この度、患者さんやスタッフの声をまとめてどなたがみても分かりやすいように仕上げました。

以前は「レンタル方式」でしたが、購入を希望されとの声が多くなってきたことと、手術後に繰り返し見ることによって正確にリハビリが出来るようになって頂きたいとの思いから、6月より「買い取り方式」に切り替えさせて頂きました。

金額は1,000円(税抜)となっております。



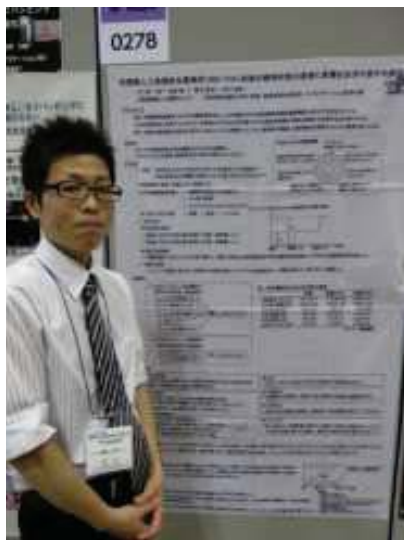
リハビリ二宮さん★学会

第49回日本理学療法学術大会に参加してきました。

今年は「あなたの生活を支えますー理学療法士10万人からの提言」というテーマの下、約1,600以上もの演題について熱い討論が行われました。

今回、私の発表は「人工関節の専門施設」「早期退院」に加え「精神面への介入」といった特徴的な内容であったことから、他施設から多くの意見や質問を受けました。その中の「手術後、短い入院期間でより重要視している取り組みは何ですか？」との問いに対しては、ビデオや模型を使用した生活指導に加えて、入院中に同じ背景であるボランティアさん(手術を受けた患者様)が病室に訪問し、実体験をもとに日常生活に対する工夫を話して下さること、また看護師さんからの電話訪問(退院後)といったことが挙げられます。

筋力トレーニングや歩き方の指導、電話訪問など医療従事者からの介入だけではなく、体験談など先輩患者さん達からの協力があるからこそ、短い期間の中でも人工関節に対する理解が深まり「人工関節に対する不安感がなくなる」→「満足した生活」に繋がるということを改めて認識しました。「専門施設だからこそ出来る取り組み」を充実させ、短い入院期間でもより満足して退院して頂けるようにこれからも頑張ります。



▼発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼2014年6月手術件数

(単位：件)

人工股関節置換術	60
人工膝関節置換術	0
人工股関節再置換術	1
その他	1

▼7月外来休診日

休診日なし

七夕とは・・・

「七夕」といえば、天の川を挟んで夜空に輝く「織姫」と「彦星」が年に一度だけ会う事を許された話が有名ですが、元々は中国から伝わった話で、西暦30年から210年に栄えた「後漢」という国から「星伝説」として語られ始めたと言われています。

話の殆どは同じですが、中国と日本では少し違う所があります。それは登場人物の名前です。「織姫」と「彦星」という名前は日本では、夏の星座としても有名な「こと座のベガ」と「わし座のアルタイル」の和名で、中国では「織女(しよくじょ)」と「牽牛(けんぎゅう)」と言います。



今年の七夕もお天気に
なりますように・・・♡

★次回の医学講座★

<日時>

<場所>

<講師>

平成26年7月17日(木) / 湘南鎌倉人工関節センター 3F / 辻 耕二先生

要申込！！

TEL:0467-47-2377

祝

10周年 祝辞コメント 第一弾 佐藤哲也先生（枳記念病院）



開設10周年を迎えられ本当におめでとうございます。私は、開設まもない湘南鎌倉人工関節センターに平成17年1月より10月までの10ヶ月間仕事をさせていただきました。

センターは平成16年10月に開院され、日本で初めての人工関節（股関節・膝関節）だけを行う施設であり、また、MIS（最小侵襲手術）の先駆けでもあったことからその勉強のために私の大学のついで平川先生に御紹介いただき一緒に仕事をさせていただきました。手術の方法、術後のリハビリや経過などそれまでの病院では経験することのできない多くのことに驚いていました。新しいものに出会えてとても楽しかったことを覚えています。朝7時から平川先生と手術に入り、合間に外階段でいろいろな話をしたこともとても勉強になりました。

海外からの見学者も多く（特にアフリカからの）食事時に海外の話も聞かせていただきました。患者さんも全国からいらしており全国の話を楽しく聞かせていただきました。

何よりも患者さんを含めスタッフ皆で笑顔でいられました。現在、私は福島県の中通りの病院で勤務しておりますが、陰ながら今後のセンターのますますのご発展をお祈りしております。



▼ 発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼ 2014年7月手術件数 （単位：件）

人工股関節置換術	53
人工膝関節置換術	0
人工股関節再置換術	3
その他	1

▼ 8月外来休診日

8月13日（水）



消防訓練



7月10日（木）に職員による消防訓練が行われました。医療機関は年2回、消防訓練が義務づけられており、そのうち1回は夜間に火災が発生したことを想定した訓練を行っています。関節センターでは毎回設定を変えて取り組んでいます。実際に消火栓（消火ホース）を使用した訓練や、運搬の訓練としてシーツに人を乗せてシーツごと移動したり、滑り台を使用して訓練を行っています。（当院の外階段には滑り台があるのをご存じですか？）今回はエレベーターの中からの救出方法をエレベーター会社の方から教えて頂きました。外から扉を開ける方法があり、力づくでは開かないそうです。

ところで学校での消防訓練の時に、合言葉はありましたか？「お・か・し」の法則、「おさない・かけない・しゃべらない」です。地域によっては「お・は・し」「おさない・はしらない・しゃべらない」があり、「おはしも」の「も」は「戻らない」、「おかしもち」の「ち」は「近づかない」というものもあるそうです。国は変わって、韓国や台湾では「とにかく走れ」だそうです。

ともあれ、まずは火災が発生しないように、毎日きちんと火の元確認をしましょう。



おかえりなさい！

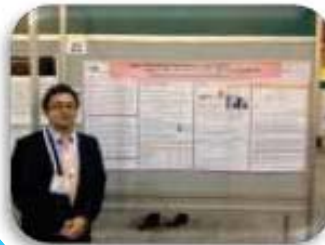


つじせんせい！！



皆さん、お久しぶりです。2年間のアメリカ生活を経て、湘南鎌倉人工関節センターに戻ってきました。アメリカでは医師としての立場を少し離れ、フロリダ州ゲインズビル市にあるフロリダ大学内の生体力学研究所で、人工股関節の摩耗計測と股関節疾患の患者さんの歩き方を3次元的に解析するということを主たる研究として学んできました。競争社会のアメリカでは、大学で学ぶ多くの人々が、熱心に、時として驚くほど高度な内容を学んでいました。しかし一方では、自分や家族との時間を非常に大切に、趣味や、家族・友達と過ごすことを優先し、時間の使い方が非常にはっきりとしていました。集中すべきときは頑張り、余暇も思う存分楽しむという、アメリカスタイルを非常に新鮮に感じた2年間でした。という訳で、私も、家族とともに自然豊かなフロリダ州内やアメリカ各地を旅し、近くにあったディズニーワールドやユニバーサルスタジオなどのアトラクションも楽しみました。個人的にはサーフィン、剣道を学生や友達と楽しみ、現地での交流もできました。見た目が少し大きくなるとともに、人としても少し大きく成長できたかな？と信じて戻ってきましたので、再びよろしくお祈りします。

辻 耕二



★次回の医学講座★

日時：8月28日（木） 14：30～

講師：名倉 誠朗

場所：湘南鎌倉人工関節センター

要予約！0467-47-2377

10周年 祝辞コメント 第二弾！！

琉球大学医学部附属病院 仲宗根 哲先生

開設10周年、心よりお祝い申し上げます。

沖縄県出身の、仲宗根哲と申します。15年目の整形外科医です。

私がセンターで研修していたのは、ちょうど開設2年を迎えるとき(2006年4月～2007年3月)でした。

1年の間に約350件の手術があり、その全てに関わることが出来ました。整形外科になって7年目の頃でしたが、それまで、ただがむしゃらに技術と知識を身につけようと必死だった私にとって、センターでの研修と多くの患者さんとの出会いは、その後の整形外科人生を変える天恵であったと言っても過言ではありません。

センターでは、低侵襲で最高水準の人工関節置換術が行われているだけでなく、専門性の高いスタッフによる術前術後の十分なケア、合併症対策、患者さんへの教育など、安全で効率のよい治療を提供できるシステムがとられています。

信頼できるスタッフに支えられていることで、私は患者さんと向き合う時間を十分に得ることができました(日本の一般的な医療現場を思えば、非常に恵まれた環境です)。そのように多くの患者さんとお話しする中で、股関節を患う生活の苦勞を、患者さんの不安を、希望を知りました。そしてその方々が、手術により苦痛から解放され笑顔になっていく姿を見ることが出来ました。人工股関節置換術という手術がどれほど患者さんの救いになり、人生をより良く変える力があるのかということを実感することができました。自分の医療に対して自信と誇りを持つということは、医師にとって、とても幸せなことです。この時得た思いを糧に、いままっ張り続けることが出来ていると思っています。

センター研修後は、大阪大学で人工股関節に関する研究を行い、現在は沖縄の琉球大学で勤務しています。

患者さんの苦痛を慮り、綿密な計画のもと手術を行い、術後リハビリテーションや外来受診時も決して手を抜かないことを自分自身肝に銘じ、また先輩や後輩にも指導しています。センターで受けた恩恵を、他の人々へ送る番だと思っています。

最後に、センター長である平川先生には、言葉では言い尽くせない感謝を捧げます。今後もMIS-THAのパイオニアであり、先導者であり、なにより素晴らしい医師である平川先生と、多くの患者さんや医療に携わる人々が出会えることを祈り、お祝いの言葉とさせていただきます。

追伸：鎌倉は、冬は寒いですが、とてもいいところでした。そして、沖縄も夏は暑いけれど、とてもいいところです。センターで手術をうけた皆様、スタッフの皆様、沖縄に旅行の際には何かありましたら、お声かけください。



湘南鎌倉総合病院人工膝関節センター 巽 一郎 先生

2000年大阪市大に在る頃、全く筋肉を切らないで膝の人工関節置換術が出来る方法を研究していました。

MIS-TKAの発表をあちこちで始めた頃、2003年5月 金沢で行われた日本整形外科学会で平川先生から日本で初めてMIS専門の人工関節センターと一緒に作らないか？とお誘いを受けました。

それから大学で3年間悶々と研究を続け、ついに2006年、京都～大阪のしがらみを全て捨てて湘南に出て来ました。

平川先生や多くの先生と、朝から晩まで人工関節だけに特化できた日々は本当に楽しい4年間でした。最初は月に4～5件だった膝人工関節(TKA)も、徐々に増え始めて、2010年には19床のSKJRCでは股関節と一緒に出来なくなり、現在は湘南鎌倉総合病院5Fに膝関節センターを移させて頂きました。場所が変わって毎日は鬼運動会のように、さらに忙しくなりました。

人工関節に特化して10年間。現在も人工股関節・膝関節置換術の高い満足度、短い在院日数では日本一であると思います。股関節も膝関節も、患者さんは退院の日を楽しみにし、自宅へ自分の足で帰られます。

これが開院以来から平川先生の夢であったと思います。もちろん何かが在って歩けない方は

少し退院が延びます。そう言ったバリエーションはごく少数で、ほとんどの方がクリニカルパスに合った通りの在院日数で元気に帰って行かれます。これを実現している技術も日進月歩であり、常に最先端の麻酔・手術アプローチ・インプラント・固定法の研究があるからです。

SKJRCのように人工関節に特化した施設が全国に幾つか出来てきました。

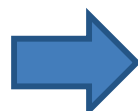
次の10年間は基本に戻って、さらに患者さんの笑顔を増やせる技術・センターであるように協力して行きたいと思っています。



人工関節(膝)



9月は特大号！！
裏面へ続きます！！！！



富山労災病院 伊藤 芳章 先生

湘南鎌倉人工関節センター創立10周年を心からお祝い申し上げます。

私は平成22年10月から9ヶ月間富山大学より勉強に来ていました。当時股関節を専門にしたいと思っていた私に、富山大学の教授より「平川先生のところでそのスピリットを学んで来い」と言われたのでした。

浅はかなことをすると「そんなのはアマチュアのことです」とよく平川先生より叱咤されたことを覚えています。手術の計画、手術手技、入院の流れ、手術後のフォロー、そして学会報告とそれぞれに決められた手順があり、それをきちんと遂行することを強く求められました。

全国から頼られる施設を担う平川先生のプロ意識というものを学んだ気がします。

平川先生や諸先輩の華麗な手術手技を盗もうと必死だったあの幸せな日々は今でも大きく胸に残っています。平川イズムのぎっしり詰まったセンターの今後ますますのご発展を心より祈念いたします。



設問	はい	いいえ
20歳のときの体重から10kg以上増加している。		
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していない。		
日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない。		
同世代の同性と比較して歩く速度が遅い。		
この1年間で体重の増減が±3kg以上あった。		
早食い・ドカ食い・ながら食が多い。		
就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。		
夜食や間食が多い。		
朝食を抜くことが多い。		
ほぼ毎日アルコール飲料を飲む。		
現在、たばこを習慣的に吸っている。 (※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「これまで合計100本以上、または6カ月以上吸っている者」であり、最近1カ月間も毎日、またはときどき吸っている者)		
睡眠で休養が得られていない。		



9月になってもまだまだ暑い日は続きます。
十分な睡眠・バランスの摂れた食事・
適度な運動など
規則正しい生活を心がけていきましょう！！

厚生労働省が作成した
生活習慣病のチェックリストです。
「はい」が多いほど
メタボリックシンドロームに
なりやすい生活習慣と言えます！

★次回の医学講座★

日時：平成26年9月25日(木)14:30～
場所：湘南鎌倉人工関節センター 3F
講師：高柳 聡

要申込 TEL:0467-47-2377
(受付時間：月～土 9:00～17:00)



○内容○

施設説明 / 施設案内
医師講座 / 質疑応答



○臨時送迎車○

13時41分・14時11分 大船駅発

▼ 発行元：
湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼ 2014年8月手術件数
(単位：件)
人工股関節置換術：45人
人工膝関節置換術：0人
人工股関節再置換術：4人
その他：1人

▼ 9月外来休診日

9月17日(水)
9月24日(水)



10周年祝辞コメント拡大版

一般社団法人徳洲会
鈴木 隆夫 理事長

早いもので、湘南鎌倉人工関節センターは10月5日に開設10周年を迎えます。

同センターは国内で初めて股関節と膝関節の人工関節置換術に特化した施設で、構想から約1年半をかけてオープンしました。

平川和男センター長は、小切開による人工関節置換術の最新手術、MIS(極小侵襲手技)のパイオニアです。従来は15~20cm切開していたところ、MISは7cmほどの切開で筋肉は斬らずに済むため、入院も4、5日と短く治癒までの患者さんの負担が軽減されました。開設当初、患者さんが殺到して手術まで1年待ちという状況もありましたが、膝関節の手術を湘南鎌倉総合病院に移したことで現在は3ヶ月待ちになっています。

平川センター長は、手術を行うだけでなく、病に悩む人たちの相談に応じています。また、同時期に手術をした患者さん同士が集まり、お互いに情報交換や悩みの相談を行っています。米国整形外科学会で講演する一方で、後進育成にも努力を惜みず、その活動の幅には目を見張るものがあります。早期退院・早期社会復帰を標榜する平川センター長に、日本の人工関節置換術をさらに発展させるうえでも今後の活躍に期待します。

まつだ整形外科クリニック 松田 芳和 先生

湘南鎌倉人工関節センター創立10周年を心よりお祝い申し上げます。
私は2007年4月から2010年3月まで3年間、膝関節を中心に湘南鎌倉人工関節センター(SKJRC)に勤務させていただきました。平川先生と初めてお会いしたのは2006年の10月、アメリカはボストンの学会後に開催されたパーティー会場でした。
当時、私はJohn Insall Traveling Fellowとして参加、平川先生はボストンでの学会に日本からゲストスピーカーとして招待されており、偶然にもその会場でお会いしたのです。平川先生から一緒に働かないかと声をかけて頂いたのがきっかけとなりました。
お世話になった3年間は低侵襲で最高レベルの技術、知識を教えてくださいました。また専門性の高いスタッフ教育、育成、そして患者さんに向き合う医師としての姿勢など数多くのことを学び貴重な期間でした。緻密な術前計画、術後管理から合併症対策、術後リハビリ、退院までの一連の流れはもちろんですが、行ってきた結果を学会や論文などで発表することで、患者さんに還元するという取り組みにはとても肝銘いたしました。今後もSKJRCでの学んだ経験を生かし、診療に手術に取り組んでいきたいと思っております。最後になりましたが、SKJRCのますますのご発展を心より祈念いたします。

▼ 発行元：
湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼ 2014年9月手術件数
(単位：件)

人工股関節置換術	47
人工膝関節置換術	0
人工股関節再置換術	2
その他	0

▼ 10月外来休診日
10月17日(金)



つかもと整形外科醫院 塚本 理一郎 先生



10周年おめでとうございます。2004年10月5日にセンター開院から10年、人工関節専門センターとして日本をリードしてきたことに、感嘆します。自分は平成10年東京医大を卒業し、その後アメリカに留学していました。アメリカでのAAOSという整形外科の学会あり、そこで平川先生にお会いしました。アメリカでの生活に慣れてきたこともあり、ここで一花咲かせようと思う心と、日本に帰国したいという気持ちで揺れていました。日本の医療は閉塞感があると、ずっと思っていました。平川先生にお会いして、この先生のいるところで働いてみたいと思いました。そこで、お願いし、2007年8月に帰国し、10月より勤務させて頂きました。それから5年間、あっという間の出来事でした。毎日毎日人工関節だけを考えればよく、さまざまな経験をさせて頂き、恵まれた環境であったと思います。また、日本整形外科学会、アメリカ膝関節学会へ何週間も勉強に出して頂き、幸せでした。現在は、世田谷で開業医として仕事をしていますが平川先生に学んだことを生かし今の診療をしています。それは、自分のためではなく、患者さんにとっての医療であるというとても簡単なことなのですが、実は一番難しいことだと感じています。10年たち、今後の10年はどんなセンターになっているか、自分も可能な限り手伝いできればと考えています。

10年のセンターに 乾杯。



センター職員より10周年を迎えて...

部長 高柳 聡

湘南鎌倉人工関節センターが人工関節治療に特化した、それまでにはなかった新しいスタイルの医療機関として開院して10周年を迎えます。フェローとして1年半を過ごし、現在常勤医として3年半が過ぎ、合わせると約5年間勤務させていただきました。この間、エビデンスに基づいた物事の方、国際的な情報の収集、患者さん・ご家族との意思の疎通の重要性を学びました。これからも、患者さん自身が積極的に治療に参加していただけるようにお手伝いできたらと考えています。また治療に伴う合併症を少なくするための技術取得にも努め続けたいと思います。

医長 辻 耕二

今年の夏にアメリカから戻ってきましたが、開院10年目を湘南鎌倉人工関節センター(SKJRC)の一員として一緒に迎えられことができ、本当に嬉しく思います。前は、2007年から2011年まで5年間SKJRCの一員として働きましたが、SKJRCが知名度、症例数ともにどんどん拡大している時期であり、非常に充実した日常を送ることができました。10年の節目を迎え、次の10年は、更なる飛躍を期待しています。当然、10年間たくさんの手術をした責任として、今後、徐々に増えるかもしれない再置換術症例にも、責任を持って頑張りたいと思います。

医長 齋藤 彰

早いもので、私も当センターで働き始めて5年目になります。従いまして、単純に計算すると、当センターでの歴史の半分を占めていることになります。現状として、当センターでの人工関節術後の再手術症例は非常に少ない印象ですが、やはり10年、5000例の積み重ねの中では、非常にまれなものを含め、少しずつ再手術症例がでてきています。今後更に10年経過した

場合には、再手術症例も今より増えているでしょうし、初回手術より年を重ねた分、全身の健康状態に不安が出てくる患者さんも増えてくると思います。そういう意味で、次の10年は全国から来られる初回手術の患者さんのみならず、再手術の患者さんの受け入れ体制も、充実させていく準備期間として自身も努力していきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

医長 名倉 誠朗

開院10周年おめでとうございます。

私が湘南鎌倉人工関節センターで研修をさせていただいたのは、2006年6月からでした。週2日の3年間、福岡から飛行機で往復しながら平川先生に人工股関節置換術を教えていただきました。当時は開設2年目を迎える頃で、手術件数も現在ほどは多くなかったように思いますが、最先端の技術を駆使し、最小侵襲による人工股関節置換術が全国に先駆けて行われていました。他の施設では全く経験できないような貴重な経験と知識を、このセンターで習得させて頂きましたこと、改めて感謝申し上げます。

湘南鎌倉人工関節センターの次の10年、さらなる発展に少しでも力になれるよう日々精進して参りたいと思います。

今後ともよろしくお願い致します。

整形外科 落合 俊輔

湘南鎌倉人工関節センター開院10周年おめでとうございます。

日本で初めての人工関節センターを設立されて10年。

現在、そのスタッフの一員として働けることを嬉しく思っています。

先駆者として湘南鎌倉人工関節センターが10年をかけて確立してきた円熟した魅力を学びつつ、今後も新しいことに挑戦し続ける力の一つとして貢献できるように努力していきたいと思います。

またこれからもセンターが患者さんを幸せに出来る病院でいられるようにと願っています。

麻酔科 大澤 真理子

当施設の麻酔科は安全性を重視して日々麻酔を行っております。

そのため、患者様一人に必ず一人の麻酔専門医をつけております。また、麻酔器やモニター類、気道確保のための機器類なども極力充実させています。

また術前回診も手術当日の朝(月・水曜日)や前日午後(手術が木曜日の場合)に行っております。ですが、当日や前日では不安なこともあると思います。何かありましたら、早めに主治医と御相談ください。今日も明日もひたすら安全に麻酔を行うつもりです。

今後ともよろしくお願いいたします。



看護総師長 工藤 留理子

開院10周年という節目をここで迎えらることに幸を感じています。10年前の開院当時はいろいろな苦労があったこととは思いますが、その苦労の甲斐があり大きく発展してきたのだと聞いております。

人工関節センターの印象は、院長を中心とした求心力のあるチームだなと感じています。核となる院長がしっかりと根をはっているので、いろいろなことがスムーズに進みます。私の意見などもしっかりと受け止めてくださり、看護部を大切に思ってください、いつも感謝しています。

今後もこのセンターがより発展していけるよう微力ですが力を尽くしていきたいと思っています。

事務長 伊澤 智也

平成26年10月5日で、湘南鎌倉人工関節センターは開院10年を迎えます。

私はグループ内の専門病院からこちらへ転勤になり約9年が経過しましたが、光陰矢のごとく「あっ！」と言う間の出来事です。

赴任時(平成17年)には職員数も14名だったのが今では48名が勤務しており、ご来院頂く患者さんも年間約3,300名以上から、今では年間約8,300名以上になり、倍以上の方々にご来院頂くようになりました。それと過去2回(平成24年、平成25年)も手術件数が全国トップという貴重な経験もさせて頂きましたが、これも一重に皆様方が当院を評価して下さったお蔭であると、改めて深く感謝しお礼申し上げます。

10年前と変わらず同じことをするのではなく、今後も今以上に患者さんへのより良いサービス提供をし、我々のモットーである“生命だけは平等だ。患者さんがいつでもどこでもだれもが最善の医療をうけられる社会を実現”できるように努力していく所存でございます。今後とも宜しくお願い致します。

平成26年度★早稲田大学理工学術院 生命医科学科大学院

9/1～9/5に葉山ハートセンター、湘南鎌倉総合病院、湘南鎌倉人工関節センター、の3施設で実習を行いました。

今年は男性3名、女性3名、合計6名の学生さんが医療現場を学びに来られました。

先生の講義だけでなく、手術見学もあり5日間 盛りだくさんの内容でした。最終日は先生方と実習生の懇親会もありみなさん有意義な時間を過ごすことができました。



★次回の医学講座★

日時:平成26年10月30日(木)14:30～

場所:湘南鎌倉人工関節センター 3F

要申込 TEL:0467-47-2377(受付時間:月～土)



開院10周年を迎えて平川院長より・・・

光陰矢の如し Time flies very fast!



当センターは平成16年に始まり10年があっ！！という間に経過しました。最初は手術後2週間の入院でしたが、当時、人工股関節置換術後の日本での平均在院日数は6週間程度でしたから、大変早いものでした。

それが現在では術後5日、3日と短縮されてきています（現在でも全国平均は28日）。小さな傷で、麻酔科＋整形外科共同で手術後の痛みが少なく、気分が悪くならないように論文検索をしながら海外の実際をアレンジし、懸命に予定表を作り上げていただきました。

当然、リハビリ、看護師さんも目が回る忙しさの中、多大なる協力をしてきています。コーディネーターの方々の手術までの予定管理、事務での事前の書類や入退院の説明など、すべてが一体になってうまくいくこととなります。また、レントゲン・検査科のサポートも欠かせません。

10年間、多くの人の手を借りながら理想の人工関節センターに近づけるように、スタッフ一同含めて努力をしてきました。今までは世界標準を目指していたのですが、気付いたらそれを超えている部分も多くなっています。次の5年は世界で一番「質」が高く、

“合併症も世界一少ない”センターを目指して邁進していきます。海外からも多くの患者さんに来ていただけるようになるため、そして早期退院・早期社会復帰のため、皆様のご理解とご協力よろしくお願いいたします。



第2回SKJRCセミナー

10月17日（金）、18日（土）の2日間、第2回SKJRCセミナーを開催しました。

今年は「これから人工関節置換術を始める人のために」をテーマとし

1日目Basicコース/2日目Advancedコースと分けて企画し発展途中および細部にわたる内容のディスカッションも取り入れ有意義な時間となりました。

また、各地方から受講者が参加し、情報交換会や症例検討会、そして懇親会も行われました。今回のセミナーを活かし今後もみなさんにより治療を提供できるよう取り組んで行きます。



←講義中

講演講師 ※50音順

- 石井 政次 先生 済生会 山形済生病院
- 岩城 啓好 先生 啓信会 中之島いわき病院
- おおえ 賢一 助教 関西医科大学付属牧方病院
- 大谷 卓也 教授 東京慈恵会医科大学付属第三病院
- 菅野 伸彦 教授 大阪大学 整形外科
- 久木田 隆 先生 くきた整形外科クリニック
- 兼氏 歩 臨床教授 金沢医科大学 整形外科
- 高木 理彰 主任教授 山形大学医学部
- 徳永 邦彦 先生 愛仁会 亀田第一病院・新潟股関節センター
- 中島 康晴 准教授 九州大学 整形外科教室
- 西井 孝 准教授 大阪大学 整形外科
- 蜂谷 裕道 先生 蜂友会 はちや整形外科
- 平川 和男 先生 湘南鎌倉人工関節センター
- 平澤 直之 先生 北水会 水戸股関節センター

←特別講演講師の
パウワ一先生と
同時通訳の児玉さん

特別講演

- 三浦 裕正 教授 愛媛大学 整形外科学
- 大園 健二 先生 関西労災病院
- Thomas W. Bauer M.D. The Cleveland Clinic /U.S.A



懇親会での様子→



▼ 発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼ 2014年10月手術件数

（単位：件）

人工股関節置換術	： 50人
人工膝関節置換術	： 2人
人工股関節再置換術	： 1人
その他	： 2人

▼ 11月外来休診日

11月21日（金）

★次回の医学講座★

◆日時◆

平成26年11月27日（木）14：30～

◆場所◆

湘南鎌倉人工関節センター

◆要申込◆

TEL：0467-47-2377

（受付時間

月～土 9：00～17：00）

裏面へ続きます！

★ 10周年祝辞 & 祝賀会 ★

10th
ANNIVERSARY
2004 - 2014 SKJRC

医療法人 緑山会 理事長 齋藤 淳先生

湘南鎌倉人工関節センター（SKJRC）開設10周年おめでとうございます。
今でこそ全国あちこちに人工関節センターと銘打つ施設ができ、MIS、短期入院、早期リハビリは当たり前のように行われていますが、日本で低侵襲人工関節手術がここまで普及したのは、道なき道を切り拓いてこられたパイオニア平川先生のご苦勞があったからこそだと思います。
大学院を終え、短期留学から帰国した時、どこか人工関節を集中的に学ぶ施設がないのかと捜している際に、偶然SKJRCを知りました。
なんのつてもなく飛び込みで訪問した私を平川先生は快く引き受けて下さいました。
1年余の短期間でしたが、開院したばかりのSKJRCでの経験は刺激的で、希望に燃える平川先生から多くのことを教わりました。その後、私が関節外科、人工関節を専門分野に選んだのは、SKJRCの影響が大きかったと思います。
10年の間に、SKJRCから多くの先生方が輩出され、たくさんの患者様がその恩恵を受けておられます。人工関節もますます進化し、技術もより高度になってきています。これからもSKJRCが最先端の技術と情熱で、困っておられる全国の患者様に希望を与え続けていただけるよう願ってやみません。



Asian café dining PORT

去る10月19日（日）10周年祝賀会を鎌倉市材木座にある「Asian café dining PORT」にて開催しました。

鈴木理事長をはじめとし、開院以来からお世話になっている方々をお招きし職員含め総勢54名が出席しました。天候にも恵まれ目の前には湘南を代表とする海（材木座海水浴場）を眺めながら、皆で交流を深め、素適な時間を過ごせました。

今後は20周年に向け、次なる目標を定めスタッフ皆で気持ちをひとつにし邁進していく所存です。

◎開会挨拶（平川院長）

◎祝辞（鈴木理事長）

◎祝辞（Thomas W. Bauer M.D.）

④乾杯挨拶（塩野院長）



⑥紙切りパフォーマンス
紙切り師：岡本 京子さん

⑤歓談



⑧平川範子さんサプライズバースデー & 勤続10年・ボランティア表彰

⑦歓談



⑪全員で記念写真撮影

⑩閉会挨拶（平川院長）

⑨歓談



●●年末・年始 外来診療おしらせ●●

12月29日(月)午前・午後 年明けは
12月30日(火)午前 1月6日(火)～通常通り
※いずれも送迎車は運行致します。

かぜ・インフルエンザ対策の9つのポイント

いよいよインフルエンザシーズンの到来です。

当院では、インフルエンザの予防接種は術前術後6週間は控えて頂いております。
風邪・インフルエンザに負けないからだを作り、元気にお正月を迎えましょう！！

ここで、9つのポイントをご紹介します！！

入浴には免疫細胞を全身に行き渡らせる効果があるのはご存じでしたか？
ぜひ、参考にしてみてください。

<p>こまめに うがい・手洗い</p>	<p>バランスのよい食事</p>	<p>しっかり睡眠</p>
<p>気温に合わせて 衣服の調節</p>	<p>部屋の換気をする</p>	<p>人ごみを避ける</p>
<p>適度に運動</p>	<p>ストレス発散</p>	<p>ゆっくり入浴</p>

▼ 発行元：

湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話：0467-47-2377
FAX：0467-47-2370

▼ 2014年11月手術件数

(単位：件)

人工股関節置換術	：	36
人工膝関節置換術	：	0
人工股関節再置換術	：	2
その他	：	0

▼ 12月外来休診日

なし

★ 次回の医学講座 ★

<日時>

平成26年12月18日(木)
14：30～

<場所>

湘南鎌倉人工関節センター
3F

<講師>

落合 俊輔

要申込！！

TEL：0467-47-2377

☆今年もクリスマス会を開催します☆

今年も関節センターでは、クリスマス会を行います。

おとし当院で大好評だった

マジシャン **SHOWさん**の**クリスマスマジックショー**を開催します。

どなたでもご参加いただけます。

ぜひ、ご家族様・ご友人の方をお誘いあわせの上お越し下さい。

尚、お席はご用意させて頂いておりますが、数に限りがございますので
立ち見になってしまう場合もございます。予めご了承下さい。

日時：平成26年12月25日(木)

時間：入場15：30／開演16：00

場所：湘南鎌倉人工関節センター2F待合室



↓クリスマス会の様子↑

